

キャリアパス			組織性(全ての職種に共通する能力)			キャリアパス対応 生涯研修	専門性(求められる資格・能力向上研修)					
段階	職務階層	対応役職	職務内容	求められる能力・役割	段階の特徴		介護職員	相談員 支援員	看護師	介護支援 専門員	管理栄養士	事務員
第6 段階	トップマネ ジメント リーダー	施設長	1、組織の理念・方針の浸透	運営総括責任者として、組織の理念、方針を明示し地域社会に理解・浸透させるための取組を行う	・事業団経営幹部 ・施設の運営・経営責任者	ステップVI 管理者 人材育成	・社会福祉法人管理者研修 ・人材育成 ・老人福祉施設協議会研修 ・経営研修	・社会福祉法人管理者研修 ・人材育成 ・老人福祉施設協議会研修 ・経営研修			・社会福祉法人管理者研修 ・労務研修 ・老人福祉施設協議会研修 ・経営研修	
			2、組織の理念・方針に基づいた経営への改善	組織の理念を達成するための人事・財務・労務の方針を決め経営を改善する								
			3、組織の活性化に向けた職場環境の整備	必要な権限移譲を行い、部下の自主性を尊重して自律的な職場環境を整え、適切な職員配置を行う								
			4、人材育成	行政、連携体制を整備し、地域間連携の基礎を構築することにより、地域福祉の推進、向上に貢献する								
第5 段階	マネジメ ントリー ダー(管 理者)	部門管理 者(統括)	1、組織の理念・方針に沿ったサービスの管理・調整	組織、職場の理念、運営方針、目標に沿ったサービスの提供と管理を行う	・施設長補佐 ・施設の運営・経営参画 ・担当部門の管理・監督	ステップV ・管理者過程 ・新任管理者課程 (マネジメント編)	・主任者研修 ・事業所集団指導	・事業所集団指導	・事業所集団指導 ・看護職マネジメント研修	・事業所集団指導	・事業所集団指導	
			2、組織の理念・方針を達成するための改善策の提案	組織の理念・方針を達成するために人事、財務、労務の現状を分析し、改善策を提案する								
			3、組織の活性化に向けた職場環境の整備	職員の意志を把握し、業務内容を検証することにより上司に対して働きやすい職場環境に向けた助言・提案を行う								
			4、キャリアパスの構築、人材育成及び人事評価制度の運用	キャリアパスを構築し、それに基づく職場研修及び人事評価制度を運用する								
			5、地域の社会資源とその連携の推進	地域のニーズを把握し、他部門、多職種、他団体との協力、連携を図り地域貢献、交流事業の基盤整備を行う								
第4 段階	チーム リーダー	主任	1、組織の理念・方針に沿ったサービスの管理・調整	組織の理念・方針に沿って、チームリーダーとして職員の信頼関係を築き、管理、調整する	・統括の補佐 ・部署の管理監督 ・業務の改善検証 ・人材育成	ステップIV ・リーダー課程	・介護員研究総会 ・介護記録研修 ・介護福祉士実習指導者講習会 ・介護福祉士ファーストステップ研修 ★キャリア段階制度(レベル4)	・臨地実習指導者研修	・主任介護支援専門員研修 ・フォローアップ研修	・山梨県栄養士会研修及び協議会		
			2、チームの目標設定と課題解決	チームリーダーの業務を振り返り、目標を決定し、部下と共に課題解決を行う								
			3、チームにおける人間関係の調整	リーダーとしてメンバーとの信頼関係を構築し、チーム内の人間関係を調整し、目標に向かってチームが機能するように指導する								
			4、チームリーダーとしての助言・指導	リーダーとして同僚や後輩の成長を促す指導を行い、職場のモデルとしての役割を担う								
			5、地域の社会資源とその連携・調整	地域の社会資源の育成等を含め、利用者中心の支援が出来るよう地域の社会資源との連携・調整を行う								
第3 段階	メンバー スタッフ	職員 (リー ダー)	1、組織の理念・方針の理解	組織の理念・方針に基づき自立して担当業務を行う	・主任の補佐 ・部署の管理調整 ・後輩の指導育成	ステップIII ・中堅職員課程	・高齢者の権利擁護 ・認知症の理解 ・口腔ケア、嚥下障害 ★キャリア段階制度(レベル2～3)	・高齢者の権利擁護	・認知症看護研修 ・褥瘡ケア研修 ・摂食嚥下研修 ・高齢者の権利擁護	・介護支援専門員維持研修	・食育研修 ・専門研修 ・山梨県栄養士会研修	・社会福祉法人会計研修 ・福利厚生研修 ・労務研修 ・ストレス研修 ・雇用管理
			2、担当業務における問題点の明確化	担当業務における課題を発見し、課題の解決に努める								
			3、チームにおける人間関係の構築	チームにおける自分の役割を理解し、人間関係を構築する								
			4、専門的知識の活用	研修に積極的に参加し、知識、技術を業務に活かす								
			5、地域の社会資源の理解	地域と交流、協力を通じ、地域資源の活用方法を理解する								
第2 段階・ 第1 段階	メンバー スタッフ	職員	1、組織の理念・方針の理解	組織の理念、方針及び目標を理解する	・リーダーの補助 ・自立レベル ・把握レベル ・理解レベル	ステップI・II ・職員研修	・接遇研修 ・生活支援技術 ・介護福祉士 ・ヘルパー2級 ★キャリア段階制度(レベル1～2)	・介護福祉士 ・精神保健福祉士 ・社会福祉士 ・主事	・看護師 ・准看護師	・更新研修II ・更新研修I ・維持研修 ・初任者研修	・管理栄養士 ・栄養士	
			2、担当業務の振り返り	日常業務を振り返る習慣を身に付け、課題を見つけるための視点を獲得する								
			3、チームの一員としての自覚	職場のルールを守り、上司からの指示をうけ、報告、連絡、相談が出来る								
			4、専門知識・技術の習得	業務遂行に必要な研修に参加し専門知識、技術が習得できるように努力する								
			5、各職種の理解と連携	組織内の他所職種に業務や、組織の中でどのような連携が行われているか判断する								